令和5年3月11日

学部・専攻科・別科生 各位

教務部長 山田 佳弘

令和5年度 対面授業受講上の留意事項について (適用期間：令和5年4月1日～5月7日)

新型コロナウイルスの感染拡大から3年が経ち、政府は感染症法上の扱いを季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定しました。これを受け、本学では、4月1日から5月7日の期間における「対面授業受講上の留意事項」の一部を変更します。なお、「5類」に移行する5月8日以降については、政府からの今後の発表等を踏まえ改めて変更する予定です。決定次第、大学ホームページ及びK-SMAPYⅡでお知らせしますので、確認してください。

新型コロナウイルス感染対策として、以下の基本的留意事項及び具体的留意事項を継続してください。また、マスクの着用については、厚生労働省より「3月13日から屋内外問わず個人の判断に委ねる」との方針が示され、文部科学省より学校(大学を含む)に対して4月1日からの適用が呼びかけられていますので、本学もこれに従います。なお、マスクの着脱については、地域の感染状況や周囲の混雑の状況、空間の広さ、その場にいる時間などを考慮して判断し、担当教員から着用が呼びかけられる場面(ディスカッションなど)ではマスクを着用できるように携帯してください。

1. 基本的留意事項

- ① 各自でできる感染防止対策(手洗い、咳エチケットの徹底等)を日常生活や学生生活の場面において、日頃から継続的に実行してください。
- ② 換気の悪い密閉空間、大勢が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場所の3つの条件が重ならなくても、感染リスクが高くなると言われていることから、これらを日頃から避ける取組を工夫して実施してください。
- ③ 免疫力を高めるため、日頃から十分な睡眠及び適度な運動、バランスの取れた食事などを心がけてください。

2. 具体的留意事項

- ① 毎朝の検温に努め、37.5℃以上の発熱や明らかな風邪様症状(微熱、せき、全身倦怠感、のどの痛み、鼻水・鼻づまり等)が見られる場合は、大学への登校は控え、対面授業を欠席してください。詳しくは、『[対面授業の出席基準について](#)』を確認してください。

さい。

- ② 在校中に体調不良を感じた場合は、建物の出入口に設置している非接触検温機を利用してください。また、非接触検温機でアラームが鳴った場合（37.5℃以上の発熱）は、『[対面授業の出席基準について](#)』に従って行動してください。
- ③ ワクチン接種日及び翌日以降も副反応等の症状により療養を必要とする場合は、大学への登校は控え、授業を欠席してください。詳しくは、『[ワクチン接種に伴う授業欠席への配慮について](#)』を確認してください。
- ④ 対面授業に不安を抱える場合は、『[対面授業に不安を抱える学生の皆さんへ（本学の教育的な配慮について）](#)』を確認してください。
- ⑤ 教室内の空気は、常に教室外から新しい空気を取り入れ教室内で循環させ、その後、教室外へ排出することにより、**概ね 20 分程度ですべて入れ替わる仕組み**になっていますので、**空調は切らないでください**。また、なるべく**体温調節のできる服装で登校してください**。